

事業計画書

事業名	朗読・音読・音訳の提供と学習
実施箇所	図書館・老人福祉施設・ふれあいサロン・小中学校・児童館 他
実施期間	事業開始予定年月日 30年 4月 1日
	事業終了予定年月日 31年 3月 31日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、朗読を学びながら、対面での朗読等の提供活動を行う。 2、発表会などの機会にはより多くの人に朗読を通し様々な作品を紹介し、作品の内容・楽しさを伝えていく。 3、作品や朗読について互いに語り合いながら仲間の輪を広げる。 4、朗読等の提供を通じて知り合えた人達と共に社会参加をし、地域のつながりの一端を担う。
	<p><事業の内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、定例会は、毎月第1水曜日に実施。朗読等の学習と情報交換を行う。 2、グループ内での発表会を実施し、その際には見学者等の声掛けをしていく。 3、専門講師によるワークショップ（講座）を2回（7月・1月）予定。いろいろな要望に応えられるよう朗読等の技術を学ぶ。また、朗読等に関心のある人に多く参加してもらい朗読等を広めていく。 4、単独及び合同での朗読発表会を計画し、より多くの人に朗読を楽しんでもらう。 5、高齢者福祉施設等への慰問や学校・児童館での読み聞かせ等ボランティア活動を積極的に実施する。 6、その他 地域住民の要請に応じ対面での朗読等の提供、また、朗読の技術を生かしたいろいろな形で読むことが困難な人たちのお手伝いをする。
	<p><アピールポイント></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、対面での提供により、質疑応答が即座にでき、作品（本等）への知識・興味が更に深まる。→意欲が生じる（喜び） 2、いろいろな作品（本等）を紹介することにより、知り合い・友人の輪が広がる。→活性化（共感・楽しい） 3、専門講師の講座を通じ、滑舌・発声・美しい日本語等に関心が生まれる。 4、朗読等のための技術が向上する。

年間計画	4月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、児童館での読み聞かせ
	5月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、児童館での読み聞かせ
	6月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ
	7月	定例会、専門講師による講座 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
	8月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
	9月	定例会、グループ内発表会（ちょっと聞いてネの会） 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 社会福祉協議会ボランティア、図書館での朗読会
	10月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
	11月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
	12月	定例会、グループ内発表会（ちょっと聞いてネの会） 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 社会福祉協議会ボランティア、図書館での朗読会
	1月	定例会、専門講師による講座 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
	2月	定例会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 社会福祉協議会ボランティア、図書館での朗読会
	3月	定例会、ザ・フレンズ朗読発表会 高齢者福祉施設等への慰問、小学校・児童館での読み聞かせ 図書館での朗読会
活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果（事業の対象者・参加予定人数も記載）	<p><「公益性」の視点></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、朗読発表会では、会員一人ひとりの朗読によりいろいろな作品を紹介し、多くの人に朗読を楽しんでもらい、本や作者への興味を持ってもらう。 2、朗読に関心のある人に講座等へ一緒に参加してもらい、朗読の技術を学びながら、朗読の世界を広めていく。（1講座15名程度） 3、高齢者福祉施設等でのボランティア活動を積極的に進め、より多くの人といろいろな作品に触れ合い、共に楽しみながら交流を深める。 4、地域住民の要請に応じ対面での朗読を提供し、また、朗読の技術を生かし、様々な機会に読むことが困難な人達のお手伝いをする事で、地域のつながりの一助となる。 	

<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> (資金面) *会員からの会費の徴収 *専門講師による講座を実施する際は特別会費を徴収</p> <p>(人材) *会員による勧誘や、朗読会等を聞きに来られた方に声掛けをし人材を確保していく。 *対面朗読の場を増やし、地域の人々に興味を持ってもらい、そのつながりの中で人材を増やし、要請に多く答えていく。 *活動の中で共に力をつけ、後継者を育てていく。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>基本的には例年の活動の継続と拡大</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、月1回の定例会 2、専門講師による講座 3、高齢者福祉施設への慰問 4、読み聞かせボランティア(学校・児童館等) 5、図書館等を利用した朗読会 6、グループ内発表会(ちょっと聞いてネの会) 7、ザ・フレンズ朗読発表会 8、いきいきサロン等社会福祉協議会のボランティア
<p>事業の最終目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1、朗読の技術の向上 2、対面での朗読・読み聞かせを通して、耳を澄ませて聴く事の文化・読書の文化を広げたい。 3、朗読の世界を広めるとともに、地域、施設に根付く活動・ボランティア、社会参加の機会の広がり、地域のつながりを持っていく。